

2025年度 事業報告書

NPO 法人 CIL ひこうせん

理事長 高坂 智彦

電話番号 048-555-1100

1. 事業の成果

2025年度は、職員による支援の質を高めることを目標に、さまざまな取り組みを行いました。特に強度行動障害のある方への支援強化を図るため、まず支援検討会を実施し、立正大学社会福祉学部・児嶋教授よりご指導をいただきました。また、埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」への相談、他事業所での実習、各種研修への参加などを通して、障害理解の深化に努めました。さらに、代表者2名が立正大学の講義を受講し、その学びを現場で活かすべく取り組みを進めました。

また、第16回忍町ミステリー・アートのオープニングイベントとして、障害者の自立をテーマにした映画「大空へはばたこう 自立への挑戦」の上映会を開催しました。併せて、児嶋教授による講演会を虐待防止・身体拘束適正化研修として実施し、職員・アシスタントのみならず、利用者ご家族や一般の方々にも理解を深めていただく機会となりました。

さらに、年度末にはひこうせん親睦旅行として伊豆潮風館への一泊旅行を4回に分けて実施し、計81名が参加しました。福利厚生の一環として、また互いに日頃とは異なる姿に触れられる貴重な機会となり、この事業を成功させるために多くの職員が協力し合ったことで、ひこうせん全体の結束力が一層強まるイベントとなりました。

そして、2月14日に4代目理事長・小林稔氏が急逝されたことを受け、理事長交代を行いました。

各事業の成果は以下の通りです。

① 自立生活支援事業

自立を目指す当事者に対し、的確に対応し、地域で自立生活を送る障害者を支援しました。自立生活について理解を深め、意欲を高められるように「ILP」（ミニILPを含む）や「虐待防止・身体拘束適正化研修」を実施してきました。

自立相談室「キムヒロ」は相談者及び家族の自立や一般就労等の希望を実現できるように支援しました。

「文学・歴史・美術・現代社会・人の品格等の知識や教養を高める」障害を問わず誰でもが学べるサロン「ILP with Salon ミネルヴァ」(月に一回の予定)を実施してきました。

② 介助派遣及び移送サービス

介助派遣事業では、地域で自立生活を送る方たちの生活を支援すべく、全力で取り組み、サービス提供責任者の配置やアシスタント・職員ともに質の高い支援が行えるよう、質の向上を図ってきました。重度訪問介護研修や同行援護の研修を行い、重度の障害者や視覚障害者への派遣を増やすことができました。アシスタントのスムーズな派遣、アシスタントの技術や対応の改善・指導の実施、現場の課題の把握、問題の解決、アシスタント不足の解消に努めました。

③ 障害者・高齢者及び児童の権利擁護活動

障害者への虐待を防ぐべく、虐待防止・身体拘束適正化研修を行い、障害者・高齢者及び児童の権利擁護活動を行ってきました。

虐待防止対策として、虐待防止・身体拘束適正化委員会の開催、全従業員(職員・パート・アシスタント)を対象に、虐待防止・身体拘束適正化研修を2回実施しました。

④ 福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業

福祉の店「きゃんばす」の運営など市内障害者団体と協議して、福祉施策の促進を図りました。ふれあいまつり、スポーツレクリエーションなどの催しに参加し、市内福祉団体との連携・交流を深めました。

まちづくりでは、行田市公益活動推進委員会に引き続き参加し、積極的にまちづくりに提言を行いました。行田市美術展に、アートメンバーの作品を出品し、広く市民にアピールすることが出来ました。2024年から謎解きの要素を加えた忍町アートギャラリー by ミステリーツアーを忍町ミステリー・アートと名称変更し、行田の市街地をアート化するための活動を行いました。

⑤ 障害者児福祉サービス事業

就労継続支援B型、生活介護、とサービスの種別による取り組みの違いを利用者のニーズに合わせ実施してきました。入浴サービスや機能訓練・生活訓

練など必要なプログラムの確立、自前の厨房による昼食の提供を実施してきました。

生活介護「グランディール」では、安全対策を万全にして散歩やドライブなどを実施し、利用者の特性に合わせて、楽しい日中活動としての取り組みを実施してきました。

生活介護「アンフィニ」では、メンバーの作業をパソコン作業に特化し、生活のクオリティを高めることが出来ました。パソコンによるデジタルアート作品が大幅に増えたので、それに伴い新商品の開発を進めました。またメンバーの増加に伴い入浴の要望が増えたため、人員の配置の工夫をし、受け入れを行いました。ショートステイ「ルポ」では、利用される方が徐々に増えていて、利用される方の特性に応じた受け入れ体制の確立に努めました。

「こころ」はアート・アート作品やクラフト製品の制作、陶芸制作を行いました。メンバーの工賃アップや訓練として、そのほかに内職の受注、リサイクル事業などを実施しました。

「amp かわいいサミット」は、2025年度も八木橋百貨店様のご厚意で、「第16回 amp かわいいサミット」を開催することができました。

共同生活援助・絆では多様な入居者の要望にできるだけ対応しながら、安全・安心に生活が続けられるように取り組みました。各ホーム責任者会議を月1回開催し、ホームで生起する諸問題の解決を図ってきました。

⑥ 児童福祉法に規定する児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業放課後等デイサービス事業「ぴーす」は自立に向けた個別支援計画を作成し、療育を行ってきました。「集団行動の支援」「日常生活の支援」を中心に、児童の特性を見極めました。また児童だけでなく親御様への支援「ペアレントトレーニング」と「相談援助」を行いました。

⑦ 広報活動としてひこうせん通信を年12回滞りなく発行し、ひこうせんの事業内容を知らしめる広報の役割を果たし、市民からも好評を得ています。またホームページやフェイスブック、X、Instagram、YouTube、LINE公式アカウントなどを使い、その媒体に合わせた広報活動を実施しました。また月1回リモート形式での「ひこうせんフェスタ」を実施し、全員参加のビンゴゲーム大会の後、季節の料理を楽しんできました。「ミニツアー」や「エキサイティングツアー」「クリスマス会」などのイベントを行い、参加者から喜んでいただき、集団での余暇活動の提供を行うことができました。

2 事業の実施に関する事項(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 特定非営利活動に関わる事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	決算額
自立生活支援事業	自立相談室「キムヒロ」の運営	週5回	法人事務所	2名	行田市周辺市民104名	2,009,358
介助派遣及び移送サービス	レスパイト輪の運営 (生活サポート事業)	通年	利用者の自宅及び外出先、法人事務所	140名	行田市周辺市民186名	19,459,096
	居宅事業所 パーソナルアシスタント ぎょうだの運営	通年	利用者の自宅及び外出先、法人事務所		行田市周辺市民93名	250,661,960
介護保険事業	パーソナルアシスタント ぎょうだの運営	通年	利用者の自宅及び外出先、法人事務所	5名	行田市周辺市民2名	539,224
障害者・高齢者及び児童の権利擁護活動	人権に関わる相談及び活動	週5回	法人事務所及び相談者の自宅	2名	行田市周辺市民	0
福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業	新たな公共システムや街づくりの提言活動	随時	法人事務所	5名	全行田市民	0
障害者児福祉サービス事業	就労継続支援B型の運営	週5回 4月1日～3月31日	こころ	7名	行田市周辺障がい者30名	39,854,877
	生活介護の運営		グランディール	20名	行田市周辺障がい者30名	58,664,341
	生活介護・短期入所の運営		アンフィニ	10名	行田市周辺障がい者28名	60,522,915
	共同生活援助 絆の運営	通年	6つの夢	37名	行田市周辺障がい者6名	26,186,023
			なかまの家		行田市周辺障がい者6名	20,637,214
			ほうき星		行田市周辺障がい者6名	17,488,611
児童福祉法に規定する児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業	放課後等デイサービス「ぴーす」の運営	週5回 4月1日～3月31日	ぴーす	9名	行田市周辺障がい児10名	14,646,852
その他	ひこうせん通信の発行	毎月1回	法人事務所	3名	埼玉県内外一般市民及び団体年6000部	0
	ホームページの管理	通年			埼玉県内外	0
	防災対策の強化	随時	法人事務所	7名	ひこうせん利用障がい者	0

※ 生活ホーム事業、就労及び生活・社会参加支援事業は、障害者児福祉サービス事業に統合して実施しています。